

(全10枚中の1枚目)

②3 高等学校 公民

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

1 次の文を読んで、次の(1)～(6)に答えなさい。

人はいかに生きるべきか、それが倫理のテーマである。そして多くの先哲は、人は正しく生きるべきと考え、正しく生きるとはどのようなことかと思案を重ねた。

倫理学の祖といわれるのは古代ギリシアの思想家ソクラテスである。彼はある経験をきっかけに「無知の知」を悟り、対話
ア
を通して真の人間の生き方を求め、混乱したアテネを建て直そうとした。ソクラテスはソフィストや一部の政治家の反感を招
イ
き、裁判にかけられ死刑となってしまうが、ソクラテスのこのような思想・行動が、「人が正しく生きるためには社会全体に正義が実現されなければならない」という、プラトンやアリストテレスらの思想につながっていく。
ウ

どのように社会全体に正義を実現すべきか。それはその後もずっと問い続けられているテーマであり、さまざまな考えがある。例えば、『正義論』を著した(①)は、社会の法や制度の根本となる正義の原理は社会の成員の合意に基づいて承認さ
エ
れなければならないという「公正としての正義」を主張した。

また、物事や現象をどう認識することが正しいことなのかも重要なテーマとなる。デカルトは、人間が備えている良識を正しく用いて、演繹法によって真理を次々と認識することができるとしたが、カントは人間の認識能力を吟味し、理性の限界を
オ
明らかにしようとした。また20世紀の哲学者(②)は、「語りえぬものについては、沈黙せねばならない」として、神や道徳について人間は語るできないとした。

正しさとは何か、どう認識するか、どう実現するのか、これからも問い続けていくことが必要なテーマであろう。

(1) 本文中の①、②に適する人物名を書きなさい。

(2) 下線部アについて、次の①、②に答えなさい。

① 「ある経験」とはどのような経験か、書きなさい。

② 「無知の知」とはどのようなことか、書きなさい。

(3) 下線部イの人たちは「ものごとの真偽を決める基準となるのは、個々の人間の考え方や感じ方である」と主張したが、このような主張を何主義というか、書きなさい。

(4) 下線部ウの人物は「人間はポリス的動物である」と言ったが、彼がそのポリスを結合し、それに秩序を与える原理として重んじた徳は正義ともう1つ何か、書きなさい。

(全10枚中の2枚目)

②3 高等学校 公民

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(5) 下線部エのような考えは社会契約説に通じるものがあるが、社会契約説を唱えた思想家であるホッブズ、ロック、ルソーは自然状態をどのように捉えたか、違いを明確にしながらかれぞれの捉え方を説明しなさい。

(6) 下線部オについて、次の①、②に答えなさい。

① カントは「認識が対象に従うのではなく、対象が認識に従う」と述べ、人間の認識についての考え方を、それ以前のものとは180度転換させたが、この認識上の転換をこの人物自ら何と表現したか、書きなさい。

② カントは「自由」とはどのようなことだと考えたか、「欲求」という語を使用して説明しなさい。

(全10枚中の3枚目)

②3 高等学校 公民

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

2 次の文を読んで、次の(1)～(8)に答えなさい。

日本は古くから外来思想をよく受け入れ、その理解を通して思想を豊かにし、発展させてきた。

聖徳太子は、豪族間の対立が激しい混乱の時代に積極的に仏教や儒教を学び、個人の能力や功労を重視し、有能な人物を政
治の役職に採用するための冠位十二階や、和を重んじることを役人に説いた憲法十七条を制定するなどして指導的役割を果た

した。平安時代の空海は、若くして儒教、道教、仏教を学んだうえで、密教の教えを日本に広めた。わが国最初の民衆のため

の教育機関である綜芸種智院を創設したことで有名で、諸地方を巡り民衆の教化につとめたとされる。鎌倉時代になると法
然・親鸞・道元・日蓮らが出現して、日本独自の展開をみせた仏教が民衆に広がった。江戸時代には、それまで公家や五山の
僧侶に教養として学ばれていた儒学が仏教から切り離され、朱子学が幕府の官学となり江戸思想の一つの基盤となった。また、

古学として(①)が武士道に儒学を盛り込んだ土道を説き、(②)が政治について考察する学問としての儒学を主張す

る古文辞学を提唱し『政談』を著すなど、日本特有の儒学が形成された。幕末になると、(③)の「東洋道徳、西洋芸術」

という言葉が示すように、西洋の技術文明を実学として積極的に学ぶ必要性が主張されるようになる。明治の福沢諭吉は西洋
文化をよく学び、『学問のすゝめ』を著し、新時代の精神的支柱となった。

- (1) 本文中の①～③に適する人物名を漢字で書きなさい。
- (2) 下線部アの遺言と伝えられている言葉で、この人物の人生観を示す言葉を漢字8字で書きなさい。
- (3) 下線部イにおいて、煩惱の炎が消え、いっさいの苦しみから解放された悟りの境地を表す言葉を書きなさい。
- (4) 下線部ウに関連し、諸子百家の一人で、家柄や財産にかかわらず、能力や人格の優れたものを政治の役職に採用すべきだとする「尚賢」を説いた人物は誰か、人物名を書きなさい。
- (5) 下線部エについて、儒教、道教、仏教を比較し、仏教が最も優れていることを主張した空海の著書を書きなさい。
- (6) 下線部オの2人の人物のそれぞれの思想における「念仏を唱える意味」の違いを説明しなさい。
- (7) 下線部カについて、禅僧であったが還俗して儒者となり、近世日本における儒学定着の端緒をなしたとされる人物名を書きなさい。
- (8) 下線部キについて、福沢諭吉が学問をすすめている理由は何か、説明しなさい。

(全10枚中の4枚目)

②③ 高等学校 公民

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

3 次の文を読んで、次の(1)～(8)に答えなさい。

現代に生きる私たちが考えなければいけない課題の一つに高齢社会の問題がある。この問題に対しては、「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」が1994年に施行され、段差のない出入口や、車いすでも利用できる駐車場などの整備が促進されてきた。しかし、その整備もまだまだ十分とは言えず、ユニバーサルデザインの考えに基づく商品の開発も、これから進めていかななくてはならない課題の一つである。

また、現代は情報社会と言われる。近い将来、ユビキタス社会の到来が予測されるが、パソコンや携帯電話など、情報機器を利用した情報収集や活用能力の差によって、就職の機会や収入に差が生じることも懸念される。また、これからの社会では、プライバシーの保護について十分な配慮が必要である。情報は一度発信すると取り戻せないため、人々のモラルや権利に対する配慮はますます重要になると言えるだろう。

国際化の進展にともなう課題もある。人間はややもすると、自己の属する集団のもつ価値観を規準として、異なる人々の行動や文化を評価しようとする自己中心的なものの見方や態度をしてしまう。しかし、私たちは、それを克服して異なった民族や文化を尊重し、さまざまな文化、宗教、習慣に優劣をつけるのではなく、それぞれの文化に固有の価値を認めるという考え方や態度が必要である。

他にも現代の社会にはさまざまな課題があるが、私たちは、これらの課題を自己の課題とつなげて主体的に追究し、問題の解決に向けて積極的に取り組んでいく必要があるだろう。

- (1) 下線部アの法律の略称をカタカナで書きなさい。
- (2) 下線部イについて、「ユビキタス」はラテン語の宗教用語である「ubiquitous」を語源としている。その語源の意味を書きなさい。
- (3) 下線部ウについて、このような情報社会における格差のことを何というか、カタカナで書きなさい。
- (4) 下線部エについて、行政機関だけでなく、5,000人を超える企業や団体が対象となり、2003年に成立、2005年に施行された個人情報の適切な取り扱いを定めた法律の名称を書きなさい。
- (5) 下線部オについて、自民族の文化の価値観を規準として、異民族やその文化を否定的に捉えたり、低く評価する態度や思想を何というか、カタカナで書きなさい。

(全10枚中の5枚目)

②③ 高等学校 公民

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

- (6) 下線部カについて、民族の違いによって社会進出の割合などに差がある場合に、差別されてきた民族の社会的地位の向上を図るために、入学基準や雇用の採用基準などで積極的な優遇措置をとることを何というか、カタカナで書きなさい。
- (7) 下線部キについて、このような考え方・態度を何主義というか、書きなさい。
- (8) アメリカの文化人類学者ルース・ベネディクトは、著書『菊と刀ー日本文化の型』の中で欧米の文化と日本の文化を対比させ、欧米の文化を「罪の文化」と定義したのに対して、日本の文化を「恥の文化」と定義付けた。この「恥の文化」とはどのような意味か、書きなさい。

(全10枚中の6枚目)

②3 高等学校 公民

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

4 次の文を読んで、次の(1)～(7)に答えなさい。

人権思想の発展の歩みと近代立憲制の端緒は、1215年のイギリスのマグナ=カルタにさかのぼることができる。イギリスでは1625年に即位した国王チャールズ1世の専制政治に対抗し、議会は(①)の起草による11か条の請願を作成して国王にこれを認めさせた。その内容は、課税における議会の同意、不当な逮捕・投獄の否定、人身の自由を再確認させるものであり、これを契機に、「法の支配」の概念が明確化されたと言えよう。イギリスでは、1642年の清教徒(ピューリタン)革命や1688年の名誉革命を通して国王による専制体制が打倒され、アメリカやフランスにおいても市民革命を通して国民主権や基本的人権の尊重などの近代市民社会の原則が確立されたのである。このように、国家権力に対する制限や身分制からの解放を求める過程の中で人々は(②)的基本権を獲得し、20世紀になると、人たるに値する生活を国家が保障するという趣旨の(③)的基本権が基本的人権の一つとして認識されるようになる。これらの人権は特定の国の中で実現されてきたが、その枠を超えて国際的に人権を認めていこうとする動きが起こる。その一つとして、1941年、アメリカのF. ローズベルトが4つの基本的自由の実現を希求し、この、いわゆる「4つの自由」を盛り込んだ形で1948年に(④)が国連において採択される。しかし、この(④)は法的拘束力がなかったため、法的拘束力のある国際人権規約が1966年に採択されることになる。その後、女子(女性)差別撤廃条約や児童の権利条約なども採択されている。

(1) 本文中の①～④に適する語句または人物名を書きなさい。

(2) 下線部アについて、次の①、②に答えなさい。

① 「法の支配」とはどのような考え方が、説明しなさい。

② 「法の支配」とは本来異なる考え方で、行政活動が法律に基づいて行われることを意味する、ドイツで発達した考え方を何というか、漢字4字で書きなさい。

(全10枚中の8枚目)

②③ 高等学校 公民

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

5 次の文を読んで、次の(1)～(8)に答えなさい。

15世紀末ごろから外国貿易や商業活動が活発になり、富を蓄積した商人たちは商業資本家となった。16～18世紀にはヨーロッパの絶対主義を背景に、外国貿易こそが富を増大させるとする重商主義が主張された。イギリスでは、問屋制家内工業から、分業を採り入れた(①)へと生産形態が変化した。

18世紀に入り産業革命が進展し、アダム＝スミスは、政府は個人の活動に干渉すべきではないとする(②)主義を主張し、個人の利己的な利益の追求こそが「見えざる手」に導かれて、国家全体の富を推進すると説いた。この時代には工場制機械工業が進み、激しい競争も行われるようになった。国防や治安維持などに限定した国家観は、社会的弱者の救済を視野に入れないため、経済的不平等を拡大させることとなった。ドイツの社会主義者である(③)は、このような国家を夜警国家と批判した。

1929年のアメリカのニューヨークでの株価暴落に端を発した(④)をきっかけに(②)主義が見直されることとなり、経済と雇用安定のため政府が経済に介入することによって、資本主義を維持しようとする考えが主張されるようになった。このような資本主義を(⑤)資本主義という。イギリスのケインズは、乗数効果理論に基づいた有効需要論を展開し、この考え方は1930年代のアメリカでF.ローズベルト大統領の政策に応用された。これがニューディール政策である。

しかし、1970年代からケインズ理論は見直しを迫られることになる。1970年代には2度のオイルショックが起き、スタグフレーションが各国の財政を圧迫し、国家はこれ以上、国債を発行したり、公共投資を増やして歳出の増大をはかることが困難となった。そして、ケインズの政策はフリードマンらのマネタリストによって批判されることとなる。このような流れの中で、歳出を削減し財政規模の縮小をはかるという「小さな政府」という考えが重視されるようになる。1980年代以降、このような考え方を政策として実行した国もある。

(全10枚中の9枚目)

②③ 高等学校 公民

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

- (1) 本文中の①～⑤に適する語句または人物名を書きなさい。
- (2) 下線部アについて、次の①、②に答えなさい。
- ① 初期の重商主義では、海外への金銀の輸出を制限・禁止することで富を確保するという考え方(政策)が唱えられたが、これを何主義というか、書きなさい。
- ② 後期の重商主義では、輸入を制限し輸出を奨励することによって富の蓄積を図る考え方(政策)が唱えられたが、これを何主義というか、書きなさい。
- (3) 下線部イの有効需要とはどのようなことか、書きなさい。
- (4) 下線部ウについて、この政策のひとつにワグナー法の制定があるが、その内容として正しいものを次のa～dから1つ選び、その記号を書きなさい。

- (5) 下線部エは経済のどのような状態をさす言葉か、簡潔に説明しなさい。
- (6) 下線部オについて、フリードマンの学説についての記述として正しいものを次のa～dから1つ選び、その記号を書きなさい。

- (7) 下線部カに関連して、イギリスで進められた「小さな政府」をめざす政策は、当時の首相の名にちなんで何と呼ばれたか、書きなさい。
- (8) アダム＝スミスと同じ古典派経済学に属し、古典派経済学の完成者と言われるD. リカードの比較生産費説は、自由な国際貿易を考える上での重要な基礎とされている。次の表は、A国とB国で電気製品と繊維製品をそれぞれ1単位生産するのに必要な労働者数を示したものである。この表を使用して、比較生産費説を生徒に説明しなさい。ただし、説明には「比較優位」と「特化」の2語を必ず使用すること。

	電気製品(1単位)	繊維製品(1単位)
A国	40人	60人
B国	20人	10人

(全10枚中の10枚目)

②3 高等学校 公民

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

6 現行の高等学校学習指導要領「公民」の「各科目」の「政治・経済」について、次の(1)、(2)に答えなさい。

(1)「目標」について、次の①～⑤にあてはまる語句を書きなさい。

広い視野に立って、(①)に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、(②)などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について(③)に考察させ、(④)を養い、良識ある公民として必要な能力と(⑤)を育てる。

(2)「内容の取扱い」について、次の①、②に答えなさい。

- ① 「内容」の(1)ア「民主政治の基本原則と日本国憲法」の現代政治の特質の取扱いにあたっては、どのようなことに留意することとしているか、書きなさい。
- ② 「内容」の(2)ア「経済社会の変容と現代経済の仕組み」において、何の観点を中心に扱うこととしているか、書きなさい。